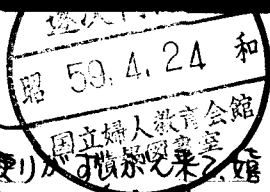


HAND in HAND

はんど いん はんど

信濃・りんご園から



■みなさまおええとお帰しですか。このころお便りがお寄せ来ないで、寂しくなりません。あーんあーんになかなかご返事できないのが心苦しいのですが、紙上を借りてお詫言します。

■さて、先日6月25日のニコニコ離婚講座は、なんと99名もの人が参加しました。それも中高年の方が多く、悩みは深いのに、再就職が思うようにできない辛さがひしひしと伝わり、きました。今日は、そんなあーんと、講座に通っていて、この5月、ようやく別居できたMさんのお手紙の一部をご紹介します。

■「雪の上にとろりと美しい姿をみせる懐しの信濃三山を見ると、故郷にもどって本当によかったと思い、澄んだ空気に心洗われる思いです。引越も無事終了、離婚まで実家のりんご園の手伝いと、休日は洋服をすることに決めました。りんご園は今が一番忙しい時で、すべてを忘れて働いています。倉庫もおいしくなりました。今朝のニュースで離婚した妻にも年金があるようになる案もでていると聞いて嬉しく、そのための運動なら、ぜひ参加したいと思っています。信毎新聞では、母子家庭の32才の女性が再婚に揺れ動く心という記事を書いておられました。彼女はやはり世間の目が気になること。でも人間として女としての生を充実させて生きることは間違っていないと結んでいました。私も卑屈にならず離婚は恥しいことではない、と世間の目をはねかえす自分がほしいと思います。それには私自身、明るく朗らかに生きることが必要ようです。今はとにかく別居できてせいせいしていますから、暗いイメージもはねのけられるでしょう」

■彼女は54歳。3人のお子さんが独立したので、ようやく自分自身の人生を歩み始めたのです。信州で Hand in Handの会を開きたいと彼女は言っていました。 1983年7月1日 円より子

子連れ再婚

サヨナラ

熊本 兄さん
(年齢不詳)

私はこの三月、二度目の離婚をしました。53年に最初の離婚をしたあと二年半して再婚したのですが、互いに子連れ再婚の再婚だったのです。が、子連れ再婚の難しさは一語に「な」初め、わかるもの、それはず、思以上のものでした。

夫は私の息子のことと少しも気にいらないと息子に暴力をふるうので、自分の娘は偏愛するのです。

結局私は、夫の両親と同居して、姑ともうまくいかず、私がちうと手続のため入院するのをきっかけに、実家へ追いかえされました。その後折物もまとめて送りかえされ、離婚を迫られたのです。離婚したほうがいいと思ふながらも、あまりの不当な仕打ちに腹が立ち、家裁の調停に出しました。すると調停成立。しかし、それをも天ほど無視し、来た額を返さぬので、再調停から

地裁へ給料差し押さえるの申立て。夫は東京、高裁へ控訴。もちろんその控訴は道理に反すると審判され、再び調停でやと離婚となりました。

その間二年の月日が流れましたが、毎月、夫と姑のあまりの仕打ちに腹がたが、えぐりかえる思ひでした。今では、あの二人は本当に心の合点いあわれな母子だと思えるようになりましてが……

とにかく、こうしてふりかえると、いったい私にとって再婚とは何だったのかと自問してしまします。それと同時に、大人の利己的考えのゆゑに、いっ心をしてつかせた長男のこと、を思うとすまなさが胸が一杯になつてしまします。また、夫の父から見たら一度もいとしでもらえなかつたその子のこと、を思うと切なさが涙がこぼれます。私は来してかつて夫だった二人の因かきようには、息子を育てるまいと思つてしまします。今はまだ前進あるのみ、息子と二人が毎日を精一杯生きぬく覚悟がります。

児童扶養手当は 私たちの命綱

27号で児童扶養手当が削られるかもしれないというニュースを読みました。それに對する反響をいくつか載せます。

●離婚して丸四年、小三の子供と二人暮らしを毎日母月なんとか思ひしているのは千当のおかげ。それが削られ出なくなれば、たちまち私たちは飢え死にしてしまいます。なにげともなく毎月来った給料をもらえぬ人ならいざしろうが、私たち日給でもらう人間は、子供が病気を医者に通いをすれば、たちまち休んだ金をこかれ、手取りが少なくなり、今、私の子は耳鼻科に通っているを毎日会社を一時間ずつ早退を遅れこいかなばならず、今月のお給料を手にするのが恐ろしいです。でも、こんな時のために千当は野金しておくのだと、それがあらえなくなつたらと思つて、安心して眠ることもできません。同じ思ふを持つ方は他にも大勢いらっしゃるのだとしよう。力をあわせて、削減されたり、なくなつたりしないよう頑張ります。

(新島)

●児童扶養手当削減の件、許せません。諸物価上昇に伴い、あつたリきこなるに、それを減らすなんて、なんともないこととす。

★どなたでもどうぞ！ 次の講座は「離婚における母と子の性心理」

45回 ニコニコ離婚講座

(会期) 7月30日(土)

13:30～16:00

(内容)「離婚における母と子の

① 性心理」

スライドもついで北沢杏子
さんのお話です。

(会場) 渋谷駅東口

東邦生命ビル

9階会議室

② 「必要な法律と手続き」

金住弁護士のお話と質疑応答

(参加費) ￥1,000.-

Hand in Handの会

☑ 第26回 東京の会

☑ 大阪の会

7月21日(木) 6:30～8:00 p.m.

新大塚ビル1階サンパティックサロン

20日までに予約を、402-7354

☑ 名古屋の会、

☑ 茨城の会

☑ 東京や大阪では、みなさん、会に出席して友人ができ、を預けあったり一緒に旅行したりしています。他の地域でも、新聞によびかけて会を広げ友人をつくりましょう。8月には全国大会(1泊2日)を予定しています。

編集後記

からむ

コラム

■ 6月11日の父の日のことです。

Tさん宅に離婚した天からたれ

がありました。「パパが今日、夕食

たべよう」と告げる母に、

「ええ？」と中学の娘。「うん、

いいよ」と小5の息子。

さう息子も母と代って父親と話しか

娘のほうは「いやだわ、予定があるのに」母、

「そんなこと言うとかいそうよ。今日、父の日

なんであって」とそれどババカけてきた必

別れてもくたないつきあいの、この

家庭ではしているふうでした。

☑ 離婚にむいて否定的な意見も

多いようですが、私のまわりには

子連れ離婚でうまくいっている

家族が大勢います。子供は

母のつれあいをパパとはいいず

名前をよびずるにしているケース

ありますが、その娘と彼との仲の

良いこと、「学校の先生は異常な

家族を思っているみたい」と母親は笑

っています。

☑ 不景気のあおりを受け、せいかくの青帯

の仕事、高齢者というだけでウビに

なった人がいます。人より2時間も早く

取場に出て仕事に励んでいる、情容赦

もないのが現実。早く仕事が見つかるこ

を祈るばかりです。それにつけても早く離婚

女性の年金権を確保したいですね。(おどか

[発行日] 1983年7月1日

[編集発行人] 円より子

[発行] 現代家族問題研究所

〒150 東京都渋谷区神宮前3丁目

33-2-202 (TEL) 03-402-7354